



# 法人よつば たより

## No.15

発行：社会福祉法人よつば ☎04-7199-7931  
 発行日：2022年 3月 1日  
 ホームページ：<http://www.kashiwa-yotsuba.jp>

### ☆ご挨拶

コロナ感染拡大の危惧の中で、令和三年度も締め括りの月を迎えています。間もなく定期の理事会が開かれ、新年度の計画と予算案等を決定する時期です。感染予防を計りながら、新規事業の開設や啓発講演会も進めたいと願っています。

三月十二日の午後一時から、流山市南流山センターホールで、障害者家族でもある綿祐二先生(日本福祉大学教授)を迎えて、「障害者家族を元気にする講演会」を開きます。障害者ご家族だけでなく、ご本人や福祉職の方たちも歓迎します。



### ☆障害者の体験や思い

・柏市在住 Xさん

私が病気を発症したのは社会人になってからです。会社勤めをした最初のころは、上司や同僚にも恵まれていましたが、配置転換で営業の担当になり、ノルマ達成のストレスと帰宅時間も遅くなって、次第に心と身体が重くなりました。体調不良で休むこともあって、睡

眠がうまく取れなくなりました。様子の变化を家族が心配して、受診を勧めてくれ、いやいやでした。が精神科を受診しました。診察結果は「うつ病」という診断でした。

三か月休職しましたが、さらに半年延びました。やがて自信がなくなり、退職しました。それから面接を受けては暫らく働きましたが、行き詰って止めることを繰り返しました。すっかり調子を崩し、引きこもり状態にまでなっていました。

そんな中で、テレビで発達障害のことを取りあげているのを見たとき、自分の困りごととよく似ていることに気づきました。それで、発達障害の分かるドクターを探し、受診した所、「自閉スペクトラム症」の可能性が高いことが分かり、通院し始めました。我孫子市の発達障害者センターのことを患者仲間から教えられ、相談に乗って頂きました。自分の取扱説明が出来たらよいことを学びました。小さい頃から持っていた周囲との違和感は、発達障害から来ているのだと感じて、今では焦る気持ちが少なくなりました。ハローワークの

障害者枠利用で、A型事業所で働き始めましたが、いずれは一般企業で、自分の特性に合った会社で働きたいと思っています。まだ人生を諦めたくありません。



### ☆家族の思いと願い

・流山市在住 Yさん

私の子どもはもうすぐ五十歳になります。もう三十年以上精神科病院に通院していますが病識が無いというか弱いというか、何度も薬を飲まなくなっては入院することを繰り返してきました。調子が悪い時はイライラして暴言や昼夜逆転が起こります。通院を拒否するときは私が薬を頂きに出かけます。私もストレスと不安で睡眠障害があるため、薬を飲んでいきます。精神障害は身体の病気と違って、精神的に不安定で理解するのが難しい病気です。それに疲れやすく、理解力も落ちてきます。また気持ちの変化も激しいです。家族はそのため随分振り回されました。子どもの病気が現れて以来、穏やかに一日を過ごせる日が減りました。何をしても物足りなさを感じます。子どもも苦しいですが、家族もしんどいものだと思います。



家族の不安やしんどさを話せる場や話せる人が少ないのが現状です。友人でもわかってくれないとは疎遠になりました。家族会や福祉の職員が相談相手です。行政の方とは、事務的なことは話せませんが、心のことまでは話せません。どんな返事が返ってくるか不安だからです。時々子どもと親亡き後のことを話しますが、ピンとこない様子ですが、稀に真顔で将来のことを心配することがあります。困ったときに相談できる所を教えてくださいありますが、果たしてどうするか分かりません。自分たちに出ることは準備するが、あとは本人の責任です。それでよいと最近は思えるようになりました。

子どもも五十歳になりますので、仕事のことは二の次です。自分で生活できるように、掃除機をかけたり自分の服の洗濯をしたり、好きなものを料理するようにと話しています。気が向けばやってくれますので、「すごい」とほめていきます。他人を家に入れるように勧められ、訪問看護を先生にお願いして、服薬指導と健康相談を、やると本人に了解させました。何を決めるにも時間がかかります。

## ☆発達障害者の

### 「当事者会」継続中!

発達障害の人たちも、仲間を求めている、・・・そう思います。まだ参加者は少ないものの、月に一度、近況報告や相談、ことを中心に話をしていきます。皆さんの周りに、発達障害の方がおられましたら、左記のことを情報提供してください。

- ・いつ 毎月第四日曜の午後一時から
- ・どこで 流山市の初石公民館にて
- ・問い合わせ 勝本まで 090-3696-1589

## ☆障害者家族を元気にする講演

### 会の案内

コロナ感染に気を付けながら、左記の講演会を開催します。今回のゲストは、福祉の専門家であると同時に、障害者家族でもある方です。福祉大学の教授であり、社会福祉法人の理事長もされています。どのような思いで家族と向き合い、家族を支援されてきたのかを話して頂きます。すべての障害の家族会をお招きしたいと思います。

次の内容で実施します。

期日 三月十二日(土曜)

午後一時から三時まで

会場 流山市南流山センター

二階のホール(二百名収容可能です)

講師 綿 祐二先生

(日本福祉大学教授)

事前予約制 (百名まで)

問い合わせ・04-7199-3645

どうぞご参加ください。



## ☆生活介護事業の準備状況

今月中に定期の理事会が開催されます。すでに柏市との事前協議は一月に終了しています。事業計画や予算やプログラムなどを審議していただき、承認を得られれば、四月から具体的な準備に取り掛かります。プレ・パンフレットが出来ていますので、関心を持っていただける方は、法人の事務局にお問い合わせください。

開設場所の見学は、改装工事の始まる五月から可能となります。提供するメニューの核となるのは、

- ① 心と身体のストレッチ
- ② 自分で出来ることを増やす
- ③ 仲間づくりと娯楽・趣味
- ④ 創作活動や仕事に取り組み

## ☆法人の事業案内

・就労継続B型 「よつば工房」(柏がんセンター近く)と「青い鳥」(大津ヶ丘)は、それぞれ定員四十人です。仕事の内容が違いますので、見学をお勧めします。

・就労継続A型 「かるのこ」は、柏市大井にあり、お弁当を作っています。最低賃金を基準とする事業所です。

## ☆支援者の目指す目標



・援助を求める人の味方に立つこと。そのための知識が必要。  
・援助を求める人の思いや言葉に耳を傾け、人々が何を感じ、経験しているのかを理解すること。そのための練習が必要。  
・援助を求める人の自己選択、自己決定の機会を増す事を支援していくこと。そのためには、共に歩むことが必要。(ジョン・マクギー)

### ※よつば会家族会(柏部会)

日時:三月二十六日十二時半  
会場:パレット柏 コミュニC

### ※よつば家族会(流山部会)

会場:流山学習センターC二〇七  
日時:三月二十五日 十時